

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	企業理念、事業所理念を事務所に掲示し、常に意識できるように実践している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. あまりできていない	例年であれば地域のお祭りや買物、外食など積極的に外出するようにしていたが、コロナ禍の今、地域との関わりが希薄になってきている。ボランティアの受入れもできない。	コロナ禍であり外出や地域の方々との関わりが難しくなっているが、感染が落ち着いてきた時には再開を期待したい。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域包括支援センターや保険者に出席していただき、ホームの情報を開示するとともに地域の話や困難ケース事例など助言をいただきサービスに活かすことができている。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議への出席を依頼するとともに、事故報告やその他サービス上の不明な点があった時には市役所へ出向き、その都度対応していただいている。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束ゼロ宣言を実施。3か月に1回適正検討委員会にて取り組みの評価を行っている。玄関は常に解錠している。その代わり廊下の扉にはセンサーブザーを設置している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	合同ミーティング時を用い、接遇やケア方法など、適切な対応ができているか評価している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在2名の入居者が成年後見制度を利用している。担当者と定期的に連絡を取り金銭管理や各種手続きなど依頼している。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時には十分な時間を取り重要事項を説明している。また随時不明点などにはその都度対応している。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会時や電話連絡時などに要望等があれば連絡ノート等で全スタッフに周知できるようにしている。ケース担当制を設け家族への連絡はケース担当から行うようにし、2か月に1回ご家族あての近況報告し家族と馴染みの関係を作りながら、要望等が言いやすい環境づくりを心掛けている。		A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月に1回のミーティング時に各スタッフより運営に関する意見等をすくい上げ、リーダー会議や管理者会議等で決定させるようにする。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	キャリアパス制度を全スタッフに周知。資格取得を目指すスタッフなど各自向上心ややりがいを持って働くことができている。自己評価制度を用い、半期の目標を持って業務にあたる。		A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月1回のミーティング時の勉強会や法人内での研修等に参加。外部研修や資格取得のためのスクーリング等、全額会社負担にて業務として参加できている。		A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内での研修(2か月に1回)にて多職種連携ができる場所を持っている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スタッフは常に一人は必ずリビングで一緒に座りコミュニケーションを図っている。業務優先にせずそれがグループホームで一番重要な業務だという事を教育している。			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴や趣味を生活に取り入れるようにしている。コロナ禍で面会や外出が制限されているので、自由な交流の場は激減してしまっている。	感染症対策を徹底しながら、ご家族や友人との交流の機会を増やしていけるようにしたい。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	常日頃より本人のちょっとした発言や行動を観察し思いを把握するようにしている。サービス自体もスタッフ本位にならないよう、入居者ファーストを理念に個々に合わせたケアを実践するようにしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のミーティング時に必ず全入居者に対しての経過報告や問題提起をケース担当中心に検討する場所を設けている。本人や家族の希望を照らしあわせながら介護計画をたてている。		A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケース担当が個別にケース記録を作成している。各フロアの連絡ノートへは誰でも自由に記入でき出勤時には必ず閲覧確認するように徹底し情報共有を行っている。		A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の日課は細かく決めずその日その日に合わせてプログラム作りをしている。特に食への楽しみを重視して、うどん作りや箱寿司作りなど楽しみながら美味しい生活ができるようにしている。	グループホームとしての役割を持った活動ができている。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	買物や遠足、外食や地域の祭りなどできる限り社会参加できる機会を設けているが、コロナ禍のため、地域との関わりが希薄になっている。その代わり季節に合わせた装飾やイベントなどホーム内での活動を増やしている。	活動が制限されている中でも様々な工夫をして生活されている。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	隔週で主治医の往診と訪問看護との24時間連携にて必要最低限の医療を提供している。カンファレンス時にはNsや薬剤師も必ず参加している。			

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入退院時には必ずスタッフが付き添い必要な情報提供を行う。退院時にも必ず退院時カンファレンスを依頼し的確な情報把握に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に方針を伺っている。実際重度化した時や看取り期の際には家族や本人の意向を尊重し主治医と相談しながらグループホームにてできる範囲のケアを実践している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内の研修や事故発生後のカンファレンスなどで再発防止、対応策をその都度検討している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な防災訓練の実施や備品のチェックを行う。警備会社に半年に1回、防災設備の点検の実施。	この地区が停電に弱く電気が止まってしまうことが死活問題となる。非常電源対策をする必要がある。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	発電機や非常電源の確保が今後の課題である。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	常に笑顔で楽しく仕事をすることで、入居者の笑顔も増えるという気持ちを大切にしている。言葉遣いももちろんだがグループホームという特性上、敬語ばかりでは窮屈になってしまう事もあるため、近からず遠からず個々に合った距離感を保つようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	常日頃より本人のちょっとした発言や行動を観察し、思いを把握するようにしている。サービス自体もスタッフ本位にならないように常に本人の立場に立って、その時どうされたいかを検討している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	調理の際には入居者にも積極的に参加していただいている。週1回お楽しみの日を設け好きなものを食べられるようにしている。食事時にはテレビを消し音楽をかけながら食事をたのしめるような環境を作っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その日の体調や本人の嗜好やレベルに合わせて食事と提供している。摂取量が少ない方には医療職を相談しながら栄養補助食品などで補いながら栄養摂取に努めている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後歯磨きを行い、就寝時は義歯の洗浄を行っている。訪問歯科を依頼し口腔内に異常がある方はすぐに往診依頼をする。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できる限りオムツに頼ることなくトイレでの排泄を心掛けている。本人に合わせた排泄ケアやトイレ誘導を行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	週3回入浴を実施。できる限り見守り更衣や洗身など自分でできることはやってもらう。機械浴がないため入浴が困難になってしまう方もスタッフ2人態勢等の方法で入浴を実施し清潔の保持に努めている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間に良眠していただくためにも、日中適度な昼寝を実施し昼夜逆転を防ぐ。夜間は本人の体調に合わせて空調や布団を調整している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬剤師による居宅療養管理指導を実施。個人の薬箱に一包化し、服薬介助時には名前と日付を声出しするようにして誤薬を防止。薬剤情報はスタッフがいつでも閲覧できるようにしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今までの趣味活動を考慮し、ホームでも継続できるものは時間を作って居室などでも自由に過ごせるようにしている。残存機能を活かすためにも様々な家事にも役割を持って参加してもらっている。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、外出や外食などはほとんどできていない。天気の良いにはホーム周辺を散歩したり、他者と接触しないようにドライブのみ出かけ外に出る機会は設けるように努めている。	感染症が落ち着いてきてからを期待したい。		

		人々と協力しながら出かけられるように支援している					
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	金銭管理はしていないのでお金を扱うことは少ない。しかしお金へのこだわりが強い方にはホームのお金を渡して疑似支払いしてもらい不安を解消している。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特に制限はかけていないのでいつでも対応できるようにしている。コロナ禍でご家族との関わりが希薄にならないよう2か月に1回ケース担当から近況報告の手紙やなどを送るようになっている。リモートでの面会も可能。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム内はバリアフリーで居室もケース担当が常に整理整頓を心掛け過ごしやすい環境作りをしている。ホーム内の装飾も季節感を取り入れた作品を入居者と一緒に手作りし、温かい雰囲気になるよう心掛けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）

40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	時間や日課はきっちりと決めず、その日その日で流動的な生活を心掛けている。「食べたい、行きたい、やりたい」という言葉を聞き逃さず、生活の中に取り入れるようにする。その為には、常に入居者と寄り添うことを重要視している。			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴や趣味嗜好は継続できるようにする。また新たなことにもチャレンジし役割や楽しみを見出す支援をする。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医師、看護師、薬剤師との連携によりグループホームでできる範囲の医療的ケアや日々の健康管理はできている。必要により他医院への通院支援も行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループでの生活なので自由気ままに…という点は難しいが居室で過ごしたり一人での時間も大切にできるようにしている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	冷蔵庫や刃物、火器物以外の物は持ち込み可とし居室を自由にレイアウトしてもらっている。入居時には食器類を含め、出来る限り自宅で使っているものをそのまま持ってきてもらっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	ご家族付き添いのもと、外出や外泊は自由にさせていただいているが、現在はコロナ禍のため参加することができていない。			
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できる限り自分の事は自分でできるように支援している。できない事も工夫や援助次第ではできる事も多々あるため、日常生活動作を通して常に生活リハにつながるようになっている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室に閉じこもらず自然とリビングで過ごすことができるように環境を整えている。特技や好きな事を活かした余暇活動を取り入れるようになっている。手芸やパズル等。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、他者との関わりは希薄になってしまっている。しかしホーム内でもコミュニティも大事な物なので、フロア交流会などを通して他者との関わりを持つようになっている。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「笑顔を忘れず常に入居者ファースト」を事業所理念として掲げケアを実践している。入居者一人一人が安心して安らげる場所であるように今後も支援していきたい。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	